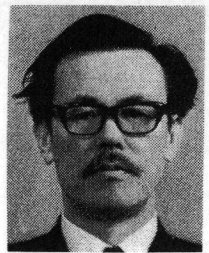


加藤九柝 くわとう きゅうさく 文化地理學者。大正十一年五月十八日朝鮮生れ（一九二一）。昭和二十五年までシベリヤ抑留。上智大學文學部卒。平凡社勤務を経て、上智短期大學助教、國史民族學博物館教授歴任。

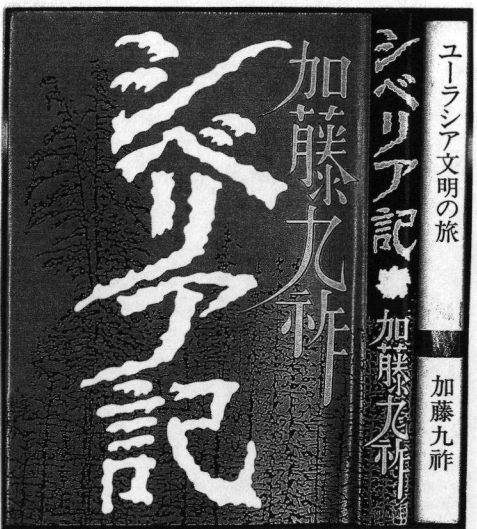
譯書、ボリス・ジエーコフ著『湖底に消えた都ーイッシク・クル湖探検記』（昭和二十八年十一月、二十日角川書店「角川新書」）、タレクセイ・パウロウイチ・オクラードニコフ著『黄金のトナカイー北アジアの岩壁に画』（昭和四十二年九月十五日美術出版社）、V・マツソン著『埋もれたシルクロード』（昭和四十五年十一月、二十七岩波書店「岩波新書」）、シムチエンコ著『極北の人たち』（昭和四十七年十一月、二十日岩波書店「岩波新書」）、ボリス・ピオトロフスキー著『埋もれた古代王国の謎ー幻の国ウラルトウを探る』（昭和五十六年九月十日岩波書店）、岡コエルミタージユ美術館ーその歴史とコレクション』（共訳、昭和六十年一月、二十四日岩波書店）、D・マイダル著『草原の国モンゴル』（昭和六十二年七月、二十五日新潮社「新潮選書」）等。

著書『シベリヤに憑かれた人々』（昭和四十九年五月、二十五日岩波書店）
 「岩波新書」）、『ユーラシア文明の旅』（昭和四十九年六月、二十日新潮社「新潮選書」）、『天の蛇ー』

ユライ・ホフスキ



『の生涯』（昭和五十一年四月、二十五日河出書房新社）、『シベリヤ記』（昭和五十五年二月十五日潮



出版社)、
「初めて世界一周した日本人」(平成五年九月十日新潮社
「新潮選書」)等。